

『2020年東京オリンピック・パラリンピック招致』に対する意識調査結果

9割超が2020年東京五輪招致に賛成

～ 「日本中が元気になれる」との声多数 ～

2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催地として、2012年5月23日にイスタンブール、東京、マドリードの3都市が正式立候補都市に選出された。立候補都市選出にあたってのIOC独自調査によると、東京の支持率は3都市のなかで最低の47%。今後の国内支持率向上が招致の鍵を握っている。

そこで東京商工会議所江東支部（網代良太郎会長・江東信用組合理事名誉会長）は、2020年東京オリンピック・パラリンピック招致に対して一般の方々がどのように感じているのかを把握するため、江東区民まつりの会場内にてアンケート調査を実施した。調査期間は平成24年10月20日から21日で、対象は江東区民まつりの来場者。調査方法は、対面式のアンケート調査で、回答数は1,000名。調査結果の主なポイントは下記の通り。

<調査結果の主なポイント>

1. 東京オリンピック・パラリンピック招致に賛成が9割超

調査を実施した1,000名のうち、931名（構成比93.1%）が2020年東京オリンピック・パラリンピック招致に「賛成」と回答した。その理由としては、「日本中が元気になれる」（構成比62.6%）という回答が最も多く、他にも「オリンピックが好き」（同51.7%）、「経済効果・雇用創出が期待できる」（同50.8%）、「若者に夢と希望を与えられる」（同43.2%）など、招致に向けて多くの期待が寄せられている。

2. ロンドン五輪での活躍が目立った種目に期待集まる

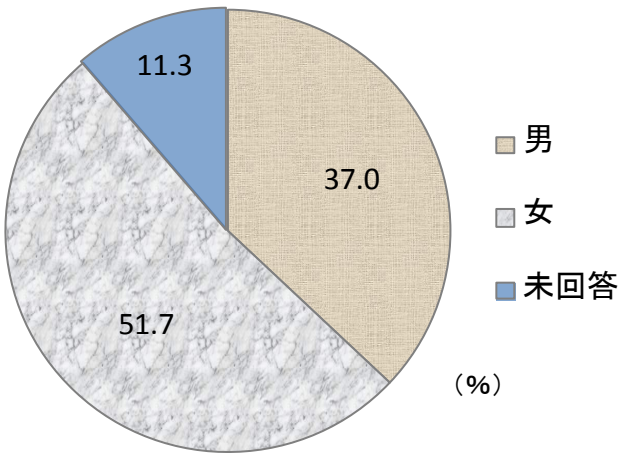
日本人選手に活躍して欲しい種目では、「体操」（構成比72.4%）という回答が最も多く、以下「柔道」（同63.1%）、「サッカー」（同58.0%）、「競泳」（同57.6%）と続き、ロンドン五輪で日本人選手が大活躍した種目に、依然として大きな注目が集まっている。

【本件に関するお問い合わせ】 東京商工会議所 江東支部（上條・森川・西田）

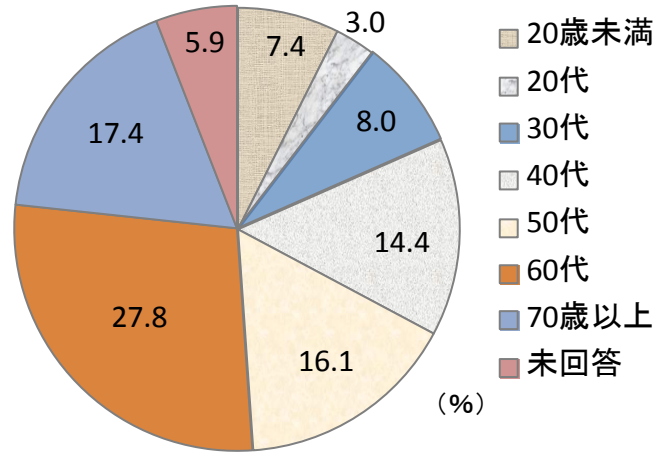
TEL：03-3699-6111

回答者属性

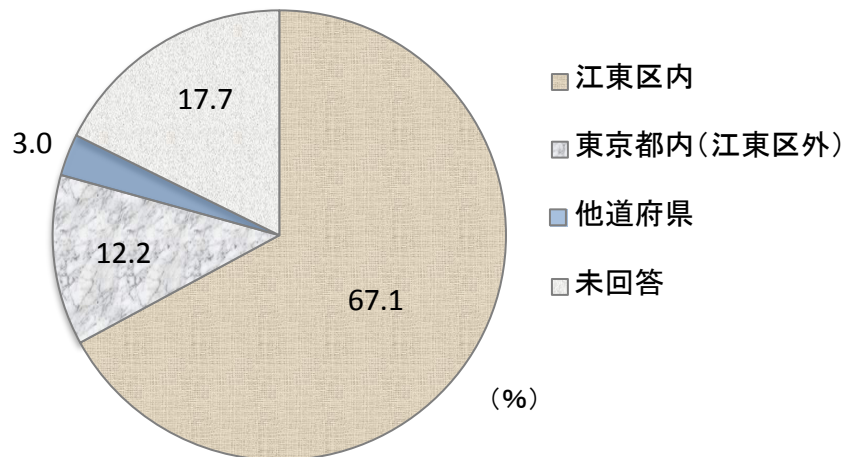
男女別構成比 (%)



年代別構成比 (%)

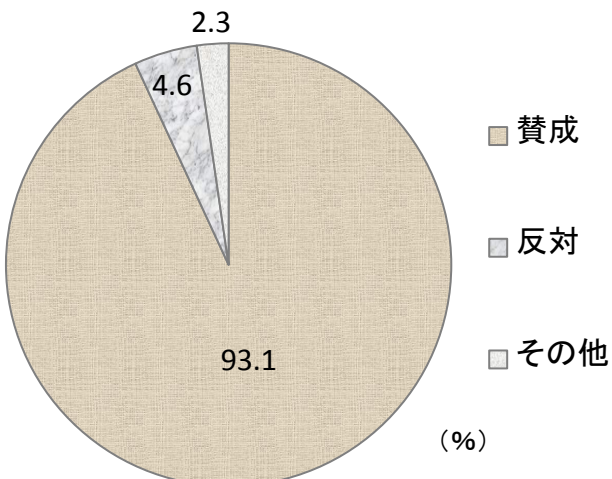


住所別構成比 (%)

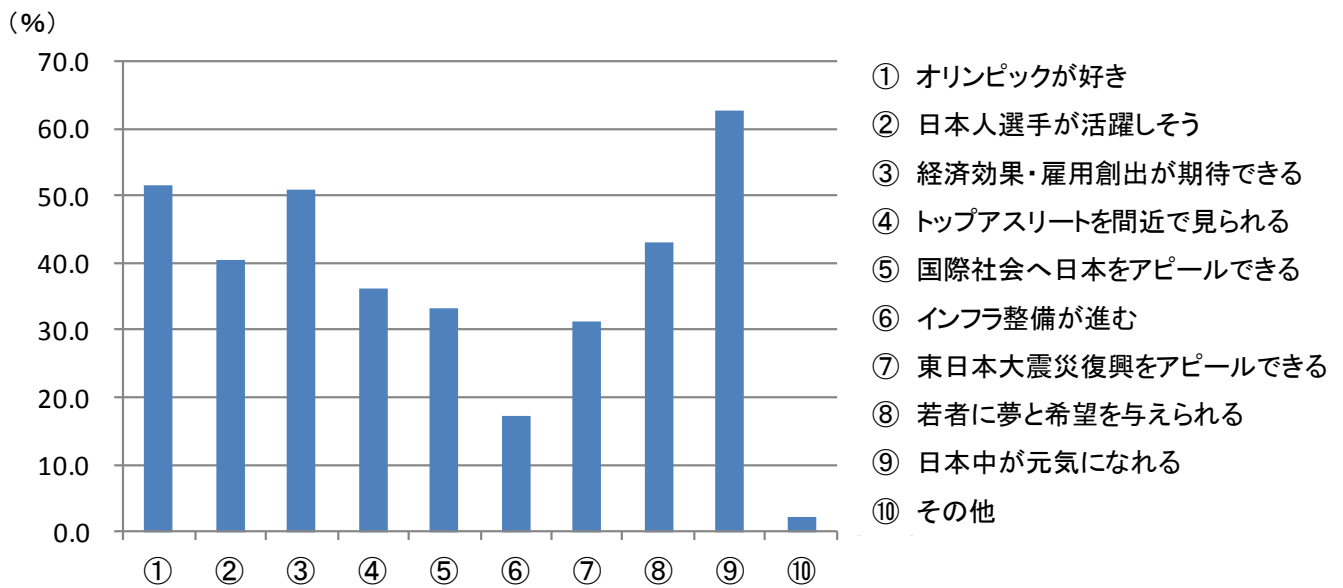


調査結果

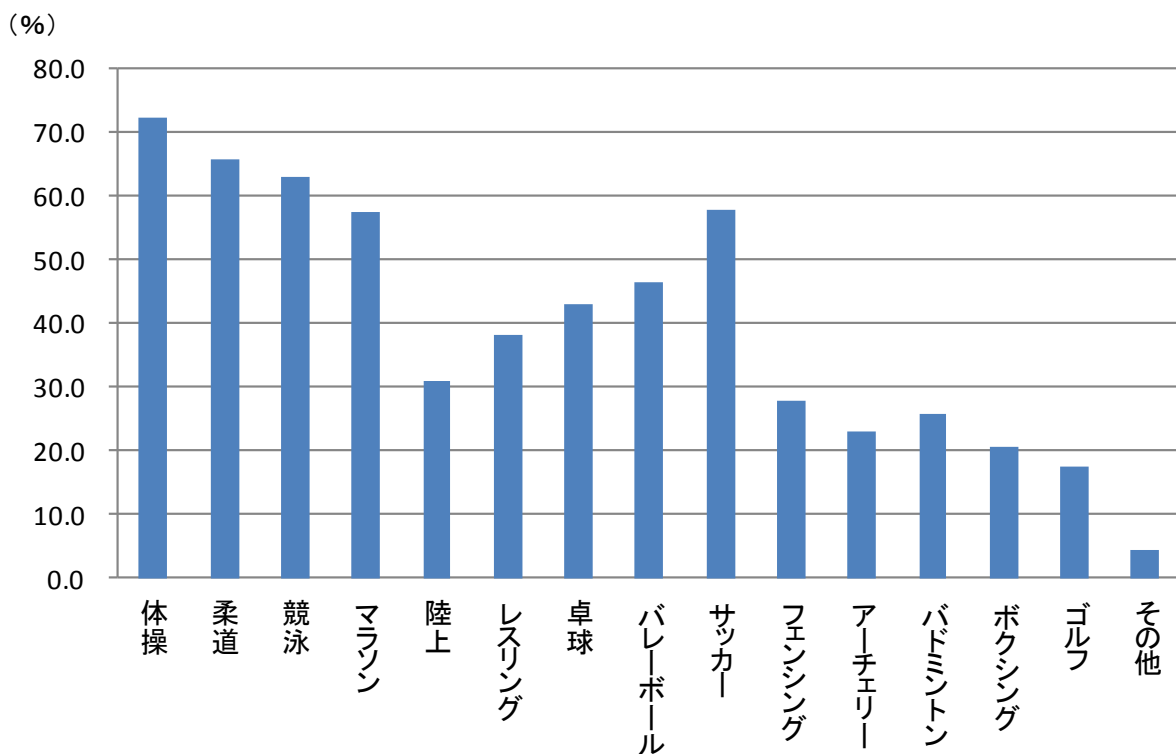
【問 1】2020年東京オリンピック・パラリンピック招致について (構成比: %)



【問2】東京五輪招致に賛成の理由（複数回答可、構成比：％）



【問3】日本人選手に活躍して欲しい競技種目（複数回答可、構成比：％）



※調査結果の詳細についてなど、ご不明点がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

【本件に関するお問い合わせ】 東京商工会議所 江東支部（上條・森川・西田）

TEL：03-3699-6111